





Job Arranger インストールガイド(β版)





変更履歴

版数	変更日付	· · 内容
初版	2012/11/30	初版発行





目次

1	システム	」構成6
2	システム	Δ要件
	2.1 ジョ	ブサーバー
	2.1.1	対応 OS 一覧
	2.1.2	ハードウェア要件
	2.1.3	ソフトウェア要件7
	2.2 ジョ	ブエージェント
	2.2.1	対応 OS 一覧
	2.2.2	ハードウェア要件
	2.2.3	ソフトウェア要件
	2.3 ジョ	ブマネージャ9
	2.3.1	対応 OS 一覧
	2.3.2	ハードウェア要件9
	2.3.3	ソフトウェア要件9
3	インスト	トール
	3.1 ジョ	ブサーバー
	3.1.1	ソースコードの取得10
	3.1.2	jobarg-server インストール10
	3.2 ジョ	ブエージェント(UNIX 版)11
	3.2.1	jobarg-agent インストール11
	3.3 ジョ	ブエージェント(Windows 版)12
	3.3.1	ソースコードの取得12
	3.3.2	Installer の実行13



FitechForce

3.4 ジョブマネージャ17
3.4.1 ソースコードの取得17
3.4.2 Installer の実行18
4 実行環境セットアップ
4.1 ジョブサーバー
4.1.1 データベースへの初期データ登録22
4.1.2 jobarg_server.confの設定22
4.1.3 自動起動設定25
4.2 ジョブエージェント(UNIX 版)
4.2.1 jobarg_agentd.confの設定26
4.2.2 自動起動設定
4.2.3 jasender.sh の設定
4.3 ジョブエージェント(Windows版)
4.3.1 config ファイルの設定
4.3.2 ジョブエージェントの起動
4.4 ジョブマネージャ
4.4.1 ODBC 設定
4.4.2 jobarg_manager.confの編集36
4.4.3 ジョブマネージャ起動
5 アンインストール
5.1 ジョブサーバー
5.2 ジョブエージェント
5.2.1 UNIX 版
5.2.2 Windows 版
5.3 ジョブマネージャ





はじめに

このインストールガイドは、JobArranger を利用する人をサポートする目的で配布されますが、市場性または特定目的に対する適合性を含むいかなる保証も一切行うものではありません。このインストールガイドは JobArranger ソフトウェアの一部として配布されます。

最新版は https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository から入 手できます。

JobArranger インストールガイドは、GPL ライセンスではなく、以下の条項に従って配布および利用するものとします。

- ・ 他の形式に翻訳および変換することは許可されますが、いかなる方法によっても内容を変更または編集すること は禁じられています。
- ・ 個人で使用する場合は印刷物の作成が許可されます。
- その他の利用目的、たとえば印刷物を販売する場合または別の出版物(印刷物または電子的)でこのインストール ガイド(の一部)を引用する場合は、Fitechforce 社からの事前の書面による合意が必要です。

The Job Arranger Manual is not released under GPL. Use of the Manual is a subject to the following terms:

conversions to other formats is allowed, but the actual content may not be altered or edited in any way you may create a printed copy for your personal use for all other uses, such as selling printed copies or using (parts of) the Manual in another publication, prior written agreement from FitechForce Company is required





1 システム構成

JobArrangerは、以下の3つのコンポーネントから構成されています。

■ ジョブサーバー

ジョブの実行管理を行うサーバです。データベース上に保持しているジョブネットやスケジュール、カレンダ ーの情報を基に、各ジョブエージェントに対して、ジョブの操作指示を行っています。 Zabbix のデータベースを使用することにより、ホストやユーザ、アクセス権限情報を共有しています。

■ ジョブエージェント

ジョブの実行を行うサーバです。ジョブエージェントはジョブサーバーから受けた指示を実行し、その結果を 返します。

SQLite を使用することにより、Agent 再起動時など、ジャーナルファイルから Job の実行状態を最新の状態に 回復できるようにしています。

■ ジョブマネージャ

ジョブネットの編集やジョブ稼働状況の確認を行うためのクライアント端末です。この機能は GUI ベースの Windows アプリケーションにて提供します。

Zabbix のデータベースを使用することにより、ホストやユーザ、アクセス権限情報を共有しています。



pg. 6

Copyright (C) 2012 FitechForce, Inc. All Rights Reserved





2 システム要件

各コンポーネントに必要な要件を説明します。

2.1 ジョブサーバー

2.1.1 対応 OS 一覧

ジョブサーバーの対応しているプラットフォームは以下の通りです。

対応 OS	バージョン
Linux	Red Hat Enterprise Linux 5.x以降
	CentOS 5.x 以降

2.1.2 ハードウェア要件

ジョブサーバーを稼働させるために必要なハードウェア要件は以下の通りです。

項目	スペック
CPU	Pentium4 以降
メモリ	30MB以上
HDD	4GB以上

2.1.3 ソフトウェア要件

ジョブサーバーを稼働させるために必要なソフトウェア要件は以下の通りです。

ソフトウェア	バージョン
MySQL	5.5 以降





2.2 ジョブエージェント

2.2.1 対応 OS 一覧

ジョブエージェントの対応しているプラットフォームは以下の通りです。

対応 OS	バージョン
Linux	Red Hat Enterprise Linux 5.x 以降
	CentOS 5.x 以降
Windows	Microsoft Windows 2003
	Microsoft Windows 2008 SP2 以降
	Microsoft Windows 2008 R2

2.2.2 ハードウェア要件

ジョブエージェントを稼働させるために必要なハードウェア要件は以下の通りです。

項目	ースペック
CPU	特別な要件無し
メモリ	20MB以上
HDD	40MB以上

2.2.3 ソフトウェア要件

ジョブエージェントを稼働させるために必要なソフトウェア要件は以下の通りです。

ソフトウェア	バージョン
SQLite	3.7 以降
JSON-C	0.9 以降





2.3 ジョブマネージャ

2.3.1 対応 OS 一覧

ジョブマネージャの対応しているプラットフォームは以下の通りです。

対応 OS	バージョン
Windows	Microsoft Windows XP SP3 以降

2.3.2 ハードウェア要件

ジョブマネージャの稼働させるためのハードウェア要件は以下の通りです。

項目	ースペック
CPU	Pentium4 以降
メモリ	512MB以上
HDD	20MB以上

2.3.3 ソフトウェア要件

ジョブマネージャの稼働させるためのソフトウェア要件は以下の通りです。

項目	・ 「バージョン
MySQL Connector/ODBC	5.1 推奨





インストール 3

本章では各コンポーネントのインストール方法について説明します。 ※前提として、Zabbixのセットアップが完了していることとします。

3.1 ジョブサーバー

3.1.1 ソースコードの取得

JobArranger のソースコードを下記の URL よりダウンロードして展開します。

```
# cd /usr/local/src
# wget
https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository/raw/*.*.*/job
arranger-src-*.*.*.zip
# unzip jobarranger-src-*.*.*.zip
```

3.1.2 jobarg-server インストール

```
① コンパイルの準備を行います。
```

```
# cd jobarranger-*.*.*
```

./configure --enable-server --with-mysql

② コンパイルを実行して、インストールします。

make

make install

デフォルトでは、全てのファイルが/usr/local 配下にインストールされます。変更したい場合は、configure のオ プションで--prefix を使用し、任意の場所を指定して実行してください。

オプション名	 説明
enable-server	ジョブサーバーのバイナリをコンパイルします。
with-mysql	ジョブサーバーのデータベースに MySQL を指定します。
prefix=対象ディレクトリ	指定されたディレクトリにインストールをします。





3.2 ジョブエージェント(UNIX版)

3.2.1 jobarg-agent インストール

前提として、sqlite3/json-Cのインストールが完了していることとします。 以下のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。 【sqlite3】 <u>http://www.sqlite.org/</u> 【json】 <u>http://oss.metaparadigm.com/json-c/</u>

コンパイルの準備を行います。

./configure --enable-agent --with-sqlite3=XXXX --with-json=XXXX

「XXXX」にはライブラリがインストールされているディレクトリを指定します。

② コンパイルを実行して、インストールします。

make # make install

デフォルトでは、全てのファイルが/usr/local 配下にインストールされます。変更したい場合は、configure のオ プションで--prefix を使用し、任意の場所を指定して実行してください。

オプション名	説明
enable-agent	ジョブエージェントのバイナリをコンパイルします。
with-sqlite3	ジョブエージェントのデータベースに SQLite を指定します。
with-json	ジョブエージェントで JSON を利用する場合に指定します。
prefix=対象ディレクトリ	指定されたディレクトリにインストールをします。

※server と agent を同時にコンパイルすることも可能です。

./configure --enable-server --with-mysql --enable-agent --with-sqlite3=XXXX --with-json=XXXX

make

make install





3.3 ジョブエージェント(Windows版)

3.3.1 ソースコードの取得

ジョブエージェントのソースコードを以下の URL よりダウンロードします。

【ダウンロードサイト】

https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository

【対象ファイルパス】

¥build¥win¥project¥jobarranger¥setup¥Release

【対象ファイル】

- Job Arranger Agent.msi
- \cdot setup.exe





3.3.2 Installerの実行

Installer を以下の通り実行し、ジョブエージェントをインストールします。 なお、Installer の実行には administrator 権限が必要となります。

- ① ダウンロードした Installer をダブルクリックし、起動します。
- ② Job Arranger Agentd セットアップウィザードが起動されたら、「次へ」ボタンを押下します。

🙀 Job Arranger Agentd	
Job Arranger Agentd セットアップ ウィザードへようこそ	
インストーラーは Job Arranger Agentd をインストールするために必要な手順を示	します。
この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この要 または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となり 注意ください。	皆の全部 ますのでご
キャンセル 〈戻る(B)	次へ(<u>N</u>) >





③ ジョブエージェントのインストールフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押下します。

🙀 Job Arranger Agentd	
インストール フォルダーの選択	
インストーラーは次のフォルダーへ Job Arranger Agentd をインストール このフォルダーにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別 トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	いします。 のフォルダーにインス
フォルダー(E): C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Agentd¥	参照(<u>R</u>)
	ディスク領域(<u>D</u>)
キャンセル く戻る(B)) 次へ(N) >





④ 「次へ」ボタンを押下すると、インストールが開始されます。

🙀 Job Arranger Agentd	
インストールの確認	
Job Arranger Agentd をインストールする準備ができました。 [)次へ]をクリックしてインストールを開始してください。	
キャンセル < 戻る(B)) <u>沐へ(N) ></u>





⑤ インストールが完了しましたら、下記の画面が表示されますので、「閉じる」ボタンを押下します。

🛃 Job Arranger Agentd	
インストールが完了しました。	5
Job Arranger Agentd は正しくインストールされました。	
終了する」コよ、[閉じる]をクリックしてください。	
キャンセル < 戻る(B)	閉じる©

インストール後、サービスヘジョブエージェントが自動登録されます。

また、スタートメニューにジョブエージェントの起動と停止ショートカットが作成されます。





3.4 ジョブマネージャ

3.4.1 ソースコードの取得

ジョブマネージャのソースコードを以下の URL よりダウンロードします。

【ダウンロードサイト】

https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository

【対象ファイルパス】

¥frontend¥jobarg_manager¥Setup¥Release

【対象ファイル】

- · Job Arranger Manager.msi
- setup.exe

また、以下の作業が完了していることが前提条件となります。

- データベースに JobArranger テーブルが追加されていること([5.1.1 データベースへの初期データ登録]参照)
- ODBC Driver がインストールされていること

【ダウンロードサイト】

MySQL Connector/ODBC : http://dev.mysql.com/downloads/





3.4.2 Installerの実行

Installer を以下の通り実行し、ジョブマネージャをインストールします。

- ① ダウンロードした Installer をダブルクリックし、起動します。
- ② Job Arranger Manager セットアップウィザードが起動されたら、「次へ」ボタンを押下します。

🔂 Job Arranger Manager	
Job Arranger Manager セットアップ ウィザードへようこ そ	
インストーラーは Job Arranger Manager をインストールするために必要な手順を	示します。
この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この) または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害とない 注意ください。	製品の全部 しますのでご
キャンセル < 戻る(B)	次へ(N) >





③ ジョブマネージャのインストールフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押下します。

🛃 Job Arranger Manager	
インストール フォルダーの選択	
インストーラーは次のフォルダーへ Job Arranger Manager をインストー このフォルダーにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別 トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	ルします。 のフォルダーにインス
フォルダー(<u>F</u>): C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Manager¥	参照(<u>R</u>) ディスク領域(<u>D</u>)
Job Arranger Manager を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用 〇 すべてのユーザー(E) ④ このユーザーのみ(<u>M</u>)	ほインストールします:
キャンセル く戻る(B)	次へ(₩)>





④ 「次へ」ボタンを押下すると、インストールが開始されます。

🙀 Job Arranger Manager	
インストールの確認	
Job Arranger Manager をインストールする準備ができました。 [)たへ]をクリックしてインストールを開始してください。	
キャンセル < 戻る(B)	<u>次へ(N) > </u>





⑤ インストールが完了しましたら、下記の画面が表示されますので、「閉じる」ボタンを押下します。







4 実行環境セットアップ

4.1 ジョブサーバー

4.1.1 データベースへの初期データ登録

Zabbix データベースに JobArranger の初期データをインポートします。

cd /usr/local/src/jobarranger/trunk/database/mysql

cat MySQL_JA_CREATE_TABLE.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>

4.1.2 jobarg_server.confの設定

/usr/local/etc/jobarranger/jobarg_server.confを環境に合わせて設定をします。

パラメータ	必須	初期値	説明
TmpDir	~	/tmp	テンポラリディレクトリの場所を設定してください。
	X	※コメントアウトされています。	
DBHost	~	Localhost	データベースが localhost 以外の場合はコメントを外して
	^	・ ※コメントアウトされています。	設定してください。
DBName	1	1	使用するデータベース名を設定してください。
DBShema	~	※コメントアウトされています。	設定不要。
	^		
DBUser	×		使用するデータベース接続ユーザ名を設定してください。
DBpassword		使用するデータベース接続ユーザのパスワードを設定し	
	^		てください。
DBSocket	~	/tmp/mysql.sock	MySQL の接続にソケットを使用する場合はコメントを外
	^	※コメントアウトされています。	して設定してください。
DBPort		3306	データベースポートを設定してください。
		※コメントアウトされています。	ローカルソケットの場合データベースポートは使用され
	I I	- 	ません。
LogSlowQueries		※コメントアウトされています。	クエリが指定したミリ秒以上要した場合にログファイル
	~		にクエリを出力します。



FitechForce

JaStartTrappers		5	trapper のインスタンス数を設定してください。
	X	※コメントアウトされています。	
JaTimeout		3 (秒)	エージェント、外部チェックのタイムアウトを設定してく
	X	※コメントアウトされています。	ださい。
JaListenIP		0.0.0.0	trapper が listen する IP アドレスをカンマ区切りで設定し
	X	※コメントアウトされています。	てください。
			設定が存在しない場合、全ネットワークインタフェースで
			待ち受けます。
JaSourceIP	~	※コメントアウトされています。	接続に使用するソース IP アドレスを設定してください。
	X	1	
JaPidFile		/tmp/jobarg_server.pid	サーバの Pid ファイルの保管場所/ファイル名を設定して
	×		ください。
JaDebugLevel	1	3	デバックの出力レベルを設定してください。
	×		0 - 出力なし
			1- クリティカル情報
		1	2 - エラー情報
			3 - 警告
		- 	4- デバッグ 情報(大量の情報が出力されます)
JaLogFile	/tmp/jobarg_server.log	サーバのログファイルの保管場所/ファイル名を設定して	
	×		ください。
JaLogFileSize		1024	ログファイルの最大サイズ(MB 単位)を設定してくださ
	×		い。
	i I	 	0 - 自動ログローテーション無効
JajobnetInterval		1 (秒)	ジョブネットの開始実行や終了ステータスを判定するプ
	Х	※コメントアウトされています。	ロセス(jajobnet)のポーリング間隔。
JarunInterval		1 (秒)	ジョブの実行を行うプロセス(jarun)のポーリング間隔。
	×	※コメントアウトされています。	
JajobInterval		1 (秒)	ジョブの強制停止やタイムアウト監視を行うプロセス
	×	※コメントアウトされています。	(jajob)のポーリング間隔。
JabootInterval		1 (秒)	ジョブネットのステータス更新や終了したジョブネット
	×	×コメントアウトされています。	情報の削除を行うプロセス(jaboot)のポーリング間隔。
JaloaderInterval ×		1 (秒)	スケジュールに登録されたカレンダーと起動時刻を元に、
		、 ※コメントアウトされています。	ジョブネットとジョブフローの実行管理情報を DB に事前
	1		展開するプロセス(jaloader)のポーリング間隔。
JaJobTimeout	I I	30 (回)	ジョブのタイムアウトチェックを行う間隔
×	X	- - ※コメントアウトされています。	」 JaJobTimeout*JaJobInterval 秒でチェックする。

pg. 23





	12		
JaAgentListenPort	×	10055	ジョブエージェントのポート番号。
	^	※コメントアウトされています。	
JatrapperListenPor	×	10061	エージェントからの結果を受信するプロセス(jatrapper)
t	^	※コメントアウトされています。	のポート番号。
JaExtjobPath	\sim		拡張ジョブアイコンの格納先を設定してください。通常は
	0		以下を指定してください。(※1)
			/usr/local/etc/jobarranger/extendedjob
JaErrorCmdPath	\sim		エラー発生時、ジョブサーバに実行させたいコマンドが置
	0		かれているパスを指定してください。通常は以下を指定し
		l L	てください。
			/usr/local/etc/jobarranger/alert
JaLogMessageFile	0	I I	以下を指定してください。
	0	1	(32bit版)
			/usr/local/etc/jobarranger/locale/logmessage_32BIT
		l I	.txt
			(64bit 版)
			/usr/local/etc/jobarranger/locale/logmessage_64BIT
		l L	.txt
JaMessageFile	\circ	1	以下を指定してください。
	0		(日本語版)
			/usr/local/etc/jobarranger/locale/jamessage_ja_JP_
		- I I	UTF-8.txt
			(英語版)
		r F	/usr/local/etc/jobarranger/locale/jamessage_en.txt

(※1) Zabbix への通知機能を有効化するために、Zabbix_sender コマンドをここに配置してください。





4.1.3 自動起動設定

jobarg-server のサービス自動起動設定を行います。

① 起動スクリプトのコピーを行います。

cp misc/init.d/<OS 名>/jobarg-server /etc/init.d/

chmod 755 /etc/init.d/jobarg-server

② /etc/init.d/jobarg-serverの編集を行います。

JOBARG=/usr/local/sbin/jobarg_server

CONF=/usr/local/etc/jobarranger/jobarg_server.conf

PIDFILE=/tmp/jobarg_server.pid

③ jobarg-server を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-server start

④自動起動設定を行います。

chkconfig jobarg-server on





4.2 ジョブエージェント(UNIX版)

4.2.1 jobarg_agentd.confの設定

/usr/local/etc/jobarranger/jobarg_agentd.confを環境に合わせて設定をします。

パラメータ	必須	」 初期値	」
JaPidFile		/tmp/jobarg_agentd.pid	エージェントの Pid ファイルの保管場所/フ
		※コメントアウトされています。	ァイル名を設定してください。
JaLogFile	×	/tmp/jobarg_agentd.log	- - エージェントのログファイルの保管場所/フ
	×		ァイル名を設定してください。
JaLogFileSize	×	1	ログファイルの最大サイズ(MB 単位)を設定
	X		してください。
			0 - 自動ログローテーション無効
JaDebugLevel		3	デバックの出力レベルを設定してください。
	^		0 - 出力なし
			1 - クリティカル情報
	1	1	2 - エラー情報
			3 - 警告
			4 - デバッグ 情報(大量の情報が出力され
		1	¦ ます)
Server		127.0.0.1	ジョブコントローラーの IP アドレスを設定
	~		してください。
JaServerPort	~	10061	ジョブサーバのポート番号
	^		
JaListenIP		0.0.0.0	エージェントが listen する IP アドレスをカ
	^	※コメントアウトされています。	ンマ区切りで設定してください。
JaListenPort		10055	- エージェントが、サーバーとの接続に使用す
	X		るポートを設定してください。
JaTimeout		3 (秒)	処理がタイムアウトになる秒数を設定して
	×	※コメントアウトされています。	ください。
JaHostname		※コメントアウトされています。	エージェントのホスト名を設定してくださ
	~		¦ ι\.
JaSendRetry		30	ジョブサーバへのデータ送信エラーが発生
	X		した場合のリトライ回数」

pg. 26





\bigcirc	/tmp/jobarg_agentd.db	SQLite で利用するファイル名を指定してく
0		ださい。
\sim	1 (日)	SQLite にジョブ情報を保存しておく期間を
^		指定してください。
\sim	24 (時間)	データベースのバックアップ取得間隔を指
^		定してください。
\bigcirc	/usr/local/etc/jobarranger/extendedjob	以下を指定してください。
0		/usr/local/etc/jobarranger/extendedjob
\bigcirc	/tmp	- テンポラリディレクトリの場所を設定して
0		ください。
	0 × × 0	 /tmp/jobarg_agentd.db X 1(日) X 24(時間) 〇 /usr/local/etc/jobarranger/extendedjob 〇 /tmp





4.2.2 自動起動設定

jobarg-agent のサービス自動起動設定を行います。

① 起動スクリプトのコピーを行います。

cp misc/init.d/<OS 名>/jobarg-agent /etc/init.d/

chmod 755 /etc/init.d/jobarg-agent

② /etc/init.d/jobarg-agent の編集を行います。

JOBARG=/usr/local/sbin/jobarg_agent

CONF=/usr/local/etc/jobarranger/jobarg_agentd.conf

PIDFILE=/tmp/jobarg_agent.pid

③ jobarg-server を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-agent start

④ 自動起動設定を行います。

chkconfig jobarg-agent on

4.2.3 jasender.sh の設定

JobArranger でエラーが発生した際に、「jasender.sh」を使用して Zabbix ヘエラー通知を行います。これにより Zabbix のトリガ画面やイベント画面に JobArranger で発生したエラー内容を表示させることができます。 /usr/local/etc/jobarranger/alert/jasender.sh を環境に合わせて設定をします。このシェルはエラー発生時に、 ジョブサーバから実行されます。

jasender.sh は内部で「zabbix_sender」を呼び出しているので、前提として Zabbix にて jasender 通知用の Items と Trigger を作成しておく必要があります。

パラメータ	説明
ZABBIX_SERVER	Zabbix サーバの IP アドレスを設定してください。
ZABBIX_PORT	エージェントのポート番号を設定してください。
ZABBIX_SENDER	zabbix_sender が格納されているパスを設定してください。
KEY	Items で設定した key を設定してください。
HOST	エージェントのホスト名を設定してください。





4.3 ジョブエージェント(Windows版)

4.3.1 config ファイルの設定

C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Agent¥conf¥jobarg_agentd.confの以下の項目について設定をします。

パラメータ	必須	初期値	説明
JaPidFile	×	/tmp/jobarg_agentd.pid	エージェントの Pid ファイルの保管場所/フ
	×	※コメントアウトされています。	ァイル名を設定してください。
JaLogFile		/tmp/jobarg_agentd.log	エージェントのログファイルの保管場所/フ
	×		ァイル名を設定してください。
JaLogFileSize		1	ログファイルの最大サイズ(MB 単位)を設定
	X		してください。
			0 - 自動ログローテーション無効
JaDebugLevel	~	3	デバックの出カレベルを設定してください。
	^		0 - 出力なし
	1	l I	1 - クリティカル情報
			2 - エラー情報
			3 - 警告
	1		4 - デバッグ 情報(大量の情報が出力され
			ます)
Server		127.0.0.1	- ジョブコントローラーの IP アドレスを設定
	^		してください。
JaServerPort	~	10061	ジョブサーバのポート番号
JaListenIP	~	0.0.0	エージェントが listen する IP アドレスをカ
	^	※コメントアウトされています。	ンマ区切りで設定してください。
JaListenPort		10055	エージェントが、サーバーとの接続に使用す
	^		るポートを設定してください。
JaTimeout		3 (秒)	- 処理がタイムアウトになる秒数を設定して
	X	※コメントアウトされています。	ください。
JaHostname		※コメントアウトされています。	エージェントのホスト名を設定してくださ
	×		い。
JaSendRetry	~	30	ジョブサーバへのデータ送信エラーが発生
	×		した場合のリトライ回数」

pg. 29





JaDatabaseFile	\bigcirc	/tmp/jobarg_agentd.db	SQLite で利用するファイル名を指定してく
	0		ださい。
JaJobHistory	\sim	1 (日)	SQLite にジョブ情報を保存しておく期間を
	^		指定してください。
JaBackupTime	~	24 (時間)	データベースのバックアップ取得間隔を指
	^		定してください。
JaExtjobPath	\bigcirc	/usr/local/etc/jobarranger/extendedjob	以下を指定してください。
	0		/usr/local/etc/jobarranger/extendedjob
JaTmpDir	\bigcirc	/tmp	- テンポラリディレクトリの場所を設定して
	0		ください。





4.3.2 ジョブエージェントの起動

ジョブエージェントを起動させます。

なお、インストール直後の状態は Windows サービスに「スタートアップの種類」が「自動」の状態でサービス停止 しています。必要に応じて「スタートアップの種類」を変更してください。

① 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Fitech Force」→「Job Arranger Agent」→「Start Arranger Agent」 をクリックし実行する。

🛅 Cygwin-X 🔹 🕨			
💼 Lhaca 🔹 🕨			
💼 ५०५४४ भ			
📾 Fitech Force 🔹 🕨	🛅 Job Arranger Manager	•	
	🖬 Job Arranger Agent	►	Jaa Start Job Arranger Agent
			Jaa Stop Job Arranger Agent

- ② 「スタート」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」でサービスコンソールを開きます。
- ③ サービス一覧から、[Job Arranger Agent]の状態が「開始」であることを確認する。

め サービス							
ファイル(<u>F</u>) 操作(<u>A</u>)	表示(型) ヘルプ(団)						
← → 💽 🗳 [3 🗟 😫 🖬 🕨 🔳 🗉	•					
🖏 サービス (ローカル)	🍓 サービス (ローカル)						
	Job Arranger Agent	名前 🛆	脱明	状態	スタートアップの種類	ログオン	
	サニビフ の(高山	🍓 Help and Support	ヘルプ	開始	自動	ローカル	
	サービスの再起動	SSL 🖏 HTTP SSL	このサ		手動	ローカル …	
		🦓 Human Interface D	Łı∽…		無効	ローカル …	
	INR.	🦓 IMAPI CD-Burning	IMAPL.		手動	ローカル …	
	Provides job scheduling	🍓 Indexing Service	口一力		手動	ローカル …	
	in the fide of the contracting	🍓 InfoTrace Agent		開始	自動	ローカル	
		🎭 IPSEC Services	IP セ	開始	自動	ローカル …	
		🍓 Java Quick Starter	Prefet	開始	自動	ローカル …	
		🎭 Job Arranger Agent	Provi	開始	自動	ローカル …	
		🎭 Logical Disk Manag	新しい	開始	自動	ローカル	-
		🍓 Logical Disk Manag	ハード		手動	ローカル	
		🍓 Machine Debug Ma	Visua	開始	自動	ローカル …	
		Messenger	ネット		無効	ローカル …	
		💑 Microsoft .NET Fra	Micro		自動	ローカル …	
		💑 Microsoft Office Di	Micro		手動	ローカル	
		🐝 MS Software Shado	ボリュ		手動	ローカル	
		🐝 MySQL55		開始	自動	NT AUT	
		🖏 Net Logon	ドメイ	開始	自動	ローカル	
		🐝 Net Tcp Port Sharin	Provi		無効	ローカル	
		🐝 NetMeeting Remot	権限		手動	п∽ли…	
		Network Access Pr	Windo		手動	□ <i>ー</i> カル	
		Network Connectio	ネット	間始	手動	ローカル	
		Network DDE	6157	1717-0	無効	ローカル	
		Network DDE DSDM	Dyna		無効	n	
		Network Location	ネット	開始	手動	п	
		Network Provisioni	白針	19120	手動	п	
		Security Su	么前		手動	n-++11.	
		A O2Micro Elash Me	-081	開始	白針	n - til.	
		A Office Source Engi	重新	1#1×□	11900 毛動	n - til.	
		Berformance Logo	えんれい		 手動	1),)// Żwk⊓	
		Ba Plug and Play	00-5/JF	日日九ム	テ動	ホットフ	
		Bartable Media Cari	L 19	1#JXO	日朝の	0 /J//	
		and the second s	: 사망 UT I만 -) 문 지루	日日九ム	テ動	0- <i>1</i> ,1,1,1,	
		en Distanted Store))出)))	日日九ム	日期	0- <i>1</i> ////	
			140°05	1#19-	日期	ローカル・・・	
	、 計画 人種様 人	Wa GOS NOVP	Q03			11-700	





4.4 ジョブマネージャ

4.4.1 ODBC 設定

JobArranger のデータベースへアクセスするために ODBC の設定を以下の通り行います。

① 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「データ ソース (ODBC)」を開きます。







② 「ODBC データソースアドミニストレータ」画面が表示されたら、「追加」ボタンを押下します。

💯 ODBC データ ソース アドミニストレータ	? X
ユーザー DSN システム DSN ファイル DSN ドライバ トレース 接続プール バージョン情報	
ユーザー データソース(U): 名前 ドライバ dBASE Files Microsoft Access dBASE Driver (*.dbf, *.ndx, : Excel Files Microsoft Excel Driver (*.xls, *.xlsx, *.xlsm, *.> MS Access Database Microsoft Access Driver (*.mdb, *.accdb) 構成(<u>C</u>)	
ODBC ユーザー データソースには指定されたデータプロバイダへの接続方法に 関する情報が格納されています。ユーザー データソースは現在のユーザーにの み認識され、現在使用しているコンピュータでのみ使用できます。	
OK キャンセル 適用(A) ヘル	1

③ ドライバー一覧より「MySQL ODBC 5.1 Driver」を選択し、「完了」ボタンを押下します。

データ ソースの新規作成		
	セットアップするデータ ソースのドライバを選択し 名前 Microsoft Text Driver (*.txt, *.csv) Microsoft Text-Treiber (*.txt, *.csv) Microsoft Visual FoxPro Driver Microsoft Visual FoxPro-Treiber MySQL ODBC 3.51 Driver MySQL ODBC 5.1 Driver MySQL ODBC 5.2w Driver Oracle in OraClient10g_home1 SQL Server	てください(S) 4.00.6、 4.00.6、 1.00.0、 1.00.0、 3.51.3(5.01.1 5.02.0、 10.02(2000.E マ
	〈 戻る(B) 完了	キャンセル





MySQL Connector/ODBC Data Source Configuration	
MysqL Connector/ODBC	
Connection Parameters Data Source Name: test	
Oescription: Oescription: Port: 3306 Named Pipe:	
User:	
Database: Iest Details >> OK	р

パラメータ	説明
Data Source Name	データソース名
TCP/IP Server	接続先 DB サーバの IP アドレス
User	データベースのユーザ名
Password	データベースのパスワード
Database	接続先 DB のデータベース名





⑤ 「test」ボタンを押下し、「Connection successful」が表示されたら「OK」ボタンを押下します。

Test Result 🛛 🔀	J
Connection successful	
<u>OK</u>	

⑥ 「ODBC データソースアドミニストレータ」画面上に追加したデータソースが表示されていれば設定完了です。

💞 ODBC データ ソース アドミニストレータ	? 🛛			
ユーザー DSN システム DSN ファイル DSN ドライバ トレース 接続プール ノ	「ージョン情報」			
ユーザー データソース(<u>U</u>):				
名前 ドライバ dBASE Files Microsoft Access dBASE Driver (#dbf #ndv.)	追加(<u>D</u>)			
Excel Files Microsoft Excel Driver (*xis, *xis, *xim, *>	肖明余(<u>R</u>)			
test MySQL ODBC 5.1 Driver	構成(<u>C</u>)			
ODBC ユーザー データソースには指定されたデータプロバイダへの接続方法に 関する情報が格納されています。ユーザー データソースは現在のユーザーにの み認識され、現在使用しているコンピュータでのみ使用できます。				
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)	ヘルプ			





4.4.2 jobarg_manager.conf の編集

前述で作成したデータソースからジョブマネージャへのアクセスを認識させるため、DB 設定ファイルを編集します。

【対象ファイルパス】

C: ¥Program Files ¥FitechForce ¥Job Arranger Manager ¥conf

【対象ファイル】

jobarg_manager.conf

<DBInfo>

- <JobconName>test</JobconName>
- <DBUser>zabbix</DBUser>
- <DBPassword />zabbix
- <DBSource>test</DBSource>
- <DBType>1</DBType>
- </DBInfo>

パラメータ	說明
JobconName	ジョブサーバー名
DBUser	データベースのユーザ名
DBPassword	データベースのパスワード
DBSource	ODBC 設定のデータソース名
DBType	データベースが Mysql の場合「0」、以外の場合「1」を設定





4.4.3 ジョブマネージャ起動

デスクトップ上の[Job Arranger Manager]アイコンをダブルクリックもしくは、スタートメニューより[Job Arranger Manager]アイコンを選択し、ジョブマネージャを起動します。



以下のログイン画面が表示されたら、起動完了です。

▶ ログイン画面	
ジョブマネージャへようこそ ジョブコントローラにログイ) パスワードを入力しログイ	。 ンするには、ジョブコントローラ名、ユーザー名、 ンボタンを押します。
ジョブコントローラ名: ユーザー: パスワード:	test
	ログイン キャンセル





5 アンインストール

5.1 ジョブサーバー

ジョブサーバーのアンインストールは以下の通りに行います。

- ① サービスの停止を行います。
 - # /etc/init.d/jobarg-server stop
 - # /etc/init.d/jobarg-agent stop

② ジョブサーバー/エージェントのアンインストールを行います。

cd /usr/local/src/JobArranger-*.*.*/trunk

make uninstall

③ テーブルの削除

- # cd /usr/local/src/jobarranger/trunk/database/mysql
- # cat MySQL_JA_DROP_TABLE.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>

④ ソースコードディレクトリの削除を行います。

cd /usr/local/src

rm -rf jobarranger





5.2 ジョブエージェント

5.2.1 UNIX版

ジョブエージェント(UNIX版)のアンインストールは以下の通りに行います。

① サービスの停止を行います。

- # /etc/init.d/jobarg-server stop
- # /etc/init.d/jobarg-agent stop

② ジョブサーバー/エージェントのアンインストールを行います。

cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/trunk

make uninstall

④ ソースコードディレクトリの削除を行います。

cd /usr/local/src

rm -rf jobarranger

※ジョブエージェントのみをアンインストールしたい場合は、インストール時に作成されたディレクトリを手動にて 削除してください。





5.2.2 Windows版

ジョブエージェント(Windows版)のアンインストールは以下の通りに行います。

① 「スタート」→「コントロールパネル」-「管理ツール」-「サービス」でサービスコンソールを開きます。

② サービス一覧の中から、[Job Arranger Agent]を右クリックし、「停止」をクリックします。

aサービス							
ファイル(E) 操作(<u>A</u>)	表示(V) ヘルプ(H)						
📧 💣 🛛	3 🗟 😫 🖬 🕨 🔳 🗉	•					
あ サードス (ローカル)	49 H. ET (n. tut)						
	Job Arranger Agent	名前 🛆	1×88	状態	スタートアップの種類	ログオン	
		Steel and Support	A167	開始	白動	п <u>-</u> лі.	
	サービスの停止		-σ.Ψ	19120	手動	n	
	サービスの再起動	Be Human Interface D	ka-			n	
		MAPI CD-Burning	IMAPI		手動	n	
	■見見	Sa Indexing Service	п <u>-</u> л		手動	п	
	Provides job scheduling	Sa InfoTrace Agent	U /J	開始会	白飾	n	
		BIPSEC Services	TP +7	開始	白動	n	
		Sa Java Ouick Starter	Prefet	問題	白動	n	
		Se Job Arranger Agent	Provi	見見力と	白納	n-++11.	
		Salogical Disk Manag	新山	開始会	自動	口~力ル	1
		Selogical Disk Manag	N-8	19120	手動	n	
		Machine Debug Ma	Vieua	問わた	白動	n	
		Macrinic Debug Ma.	ネット	19120	田 \$/) 毎 \$h	n	
		Microsoft NET Fra	Micro		白針	n-++11.	
		Microsoft Office Di	Micro		三動	n-+11.	
		Microsoft Office Di	#U.5		丁動	0	
		Mis Software Shado	W71	日日カム	丁動		
		B Net Leven	837	日日カム	白動		
		et Net Logon	1°241 Domui	17120	日期		
		Shethertine Dewet	FTUVI		無効	0- <i>JJV</i>	
		Manual Assess	1世PX		子動	0- <i>J</i> J//	
		Manual Constantia	windo	8854	子動		
		Metwork Connectio	イット 一川 = つ	19198	于即月		
		Metwork DDE	[0](J		無効	0- <i>J</i> //	
		Network DDE DSDM	Dyna	8847	無効	0- <i>J</i> //	
		Network Location	<u>ተ ማ</u> ኮ	開始	于動	1- <i>J</i> //	
		Network Provisioni	目動		于動	ローカル …	
		NI LM Security Su	治則	0044	于動	ローカル …	
		WOUZMICRO Flash Me		開始	目朝	<u>ローカル</u> …	
		Wittice Source Engl	史新		于朝	<u>ローカル</u> …	
		Performance Logs	86570	8847	于朝	ネットリ	
		See Plug and Play	ユーザ	開始	日朝	ローカル …	
		Seri	Retrie		手動	ローカル …	
		Spooler	·遅建	開始	目動	ローカル	
		Protected Storage	秘密	開始	目動	ローカル …	
		Section 2005 RSVP	QoS		千朝	ローカル	





- ③ Installer をダブルクリックし、Job Arranger Agentd セットアップウィザードを起動します。
- ④ 「Job Arranger Agentd の削除」を選択し、「完了」ボタンを押下する。

🛃 Job Arranger Agentd	
Job Arranger Agentd セットアップ ウィザードへようこそ	
Job Arranger Agentd の修復または削除のどちらかを選択してください。	
○ Job Arranger Agentd の修復(R)	
● Job Arranger Agentd の削弱(M)	
キャンセル < 戻る(B)	完了(E)





⑤ アンインストールが完了しましたら、下記の画面が表示されますので、「閉じる」ボタンを押下します。

🛃 Job Arranger Agentd	
インストールが完了しました。	
Job Arranger Agentd は正常に削除されました。 終了するには、 [閉じる]をクリックしてください。	
キャンセル 〈戻る(B)	閉じる(0)





5.3 ジョブマネージャ

ジョブマネージャのアンインストールは以下の通りに行います。

- ① Installer をダブルクリックし、Job Arranger Manager セットアップウィザードを起動します。
- ② 「Job Arranger Manager の削除」を選択し、「完了」ボタンを押下する。

😸 Job Arranger Manager	
Job Arranger Manager セットアップ ウィザードへようこ そ	
Job Arranger Manager の修復または削除のどちらかを選択してください。	
◯ Job Arranger Manager の修復(<u>R</u>)	
⊙ Job Arranger Manager の削除(M)	
キャンセル く戻る(8)	完了(E)





③ アンインストールが完了しましたら、下記の画面が表示されますので、「閉じる」ボタンを押下します。

🛃 Job Arranger Manager	
インストールが完了しました。	5
Job Arranger Manager は正常に削除されました。 終了するには「「問!"る〕をクロックにてください。	
キャンセル < 戻る(B)	閉じる(<u>C</u>)